

広報あじす

AJISU

平成3年

№.469

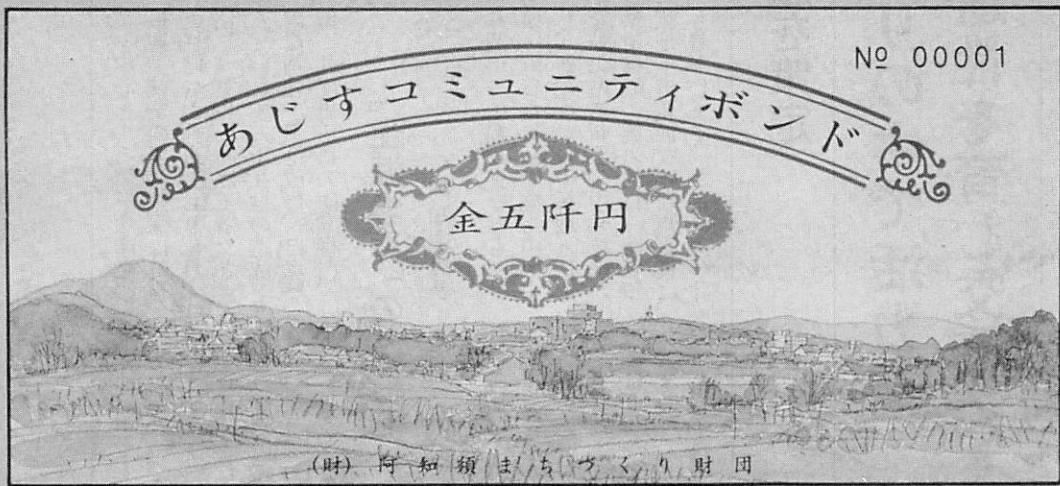
1/1

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 65-4111(番代)754-12

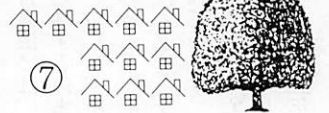
広報あじす 毎月5日 発行
お知らせ版 毎月20日 発行

阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、
奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、
健康で明るいくらしを
築きます。
- 一、生涯を通して学び、
うるおいのある生活を
求めます。
- 一、きまりを守り、
温かい心のふれあいを
ひろげます。
- 一、伝統と自然を大切に、
住みよいまちを
つくりまします。



まちづくり 最前線



コミュニティ・ボンド募集中
まちづくり施設はみんなて

財団法人阿知須まちづくり財団(飯田宏史理事長)では『建設資金にあなたの協力を』とコミュニティ・ボンドを募集中です。このコミュニティ・ボンドは健康文化センター(コミュニティ施設)の整備に当って必要な建設資金の一部を住民に出資していただく方式。それによって、まちづくり施設に対する認識を深め、自分たちに身近かな文化施設としての利用度を高めていた

健康文化センター建設協力金 (金銭借用証書)

様 住所

金 5000円也

上記 正に健康文化センター建築の建設協力金として借用しました。

これについては、① 利息 無利息

② 償還日 平成8年3月2日以降といたします。

平成3年3月3日

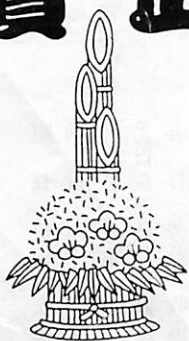
山口県吉敷郡阿知須町433番地

財団法人 阿知須まちづくり財団
理事長 飯田



阿知須市街地風景入りのボンド証書(松代光正さん=砂=寄贈)

賀正



- だこうというのが大きくならいいです。募集に当っては女性二十人(ボンド・レディ)の協力を得て、各家庭を訪問し、出資をお願いすることになっていきます。コミュニティ・ボンドの発行要領は次のとおり。
- ▽名称 「あじすコミュニティ・ボンド」
 - ▽発行価格 一口五千円で記名方式
 - ▽発行総額 二千五百万円(一口五千円で五千口)
 - ▽発行日 平成三年三月三日
 - ▽募集期限 平成三年二月二十八日まで
 - ▽償還方法 五年後の平成八年三月二日付で一括償還、健康文化センターでボンド証書と引き替え
 - ▽償還請求権 償還期日の翌日から十年を経過した時、時効により消滅
 - ▽応募資格 町民およびこの趣旨に賛同する事業所、個人
 - ▽利息 なし
 - ▽特典 一口年一割分(五千円に対し五百円相当)の利用割引券を証書発送時に五年分渡します。ただし、現金への換金はできません
 - ▽購入方法
 - 町内の個人、事業所 町内金融機関(山銀、吉南、農協) 共通の振込み票の利用またはボンド・レディの訪問による現金扱い
 - 町外の個人、事業所 もよりの郵便局から郵政省の払込通知票の利用または現金扱い
 - ▽問い合わせ先
財団法人阿知須まちづくり財団(阿知須町浜、阿知須町商工会内) 〇八三六(五)二二一九

新年おめでとございます。旧年は町制施行五十周年に当り、記念式をはじめ、各種事業を実施しましたが、皆様のご理解とご協力により、計画どおり推進できましたことを厚く御礼申し上げます。

「生涯学習」の推進を

阿知須町長 飯田 宏 史

新しい年は二十世紀最後の十年間のスタートの年です。今世紀の総仕上げと二十一世紀への準備の意味も含め、本町はこのたび第二次基本構想を策定しました。平成三年からの長期計画ですが、私はこの中で特に「生涯学習」を重視し新しい施策として強力に推進したいと考えています。と申しますのは、サービスマ

井関川の拡幅改良なども国・県・町費を投じて施工中です。し、新年度から干拓地と佐山を結ぶ県道新設、中学校前の県道拡幅、橋の改良、阿知須駅地下道新設など新規事業にも着手します。さらに次の計

画も検討中です。住みよい郷土の基礎づくりは着実に進んでいます。しかし、これら「目に見える行政」だけでなく、心から感じてよろこぶ行政も大事です。そのために、生涯を通じて、自ら学び、心身を鍛え、能力を発揮することで、他人から存在感が認められれば、よろこびはさらに大きくなるのではないかと思います。まちづくりは人づくりかと申します。趣味、娯

第2次基本構想を策定

将来像

「ゆとりの中で活力と創造性を育む交流のまち」

10年後の人口1万人をめざす

本町の将来計画のもととなる「第一回阿知須町基本構想」ができました。平成三年から概ね向う十年間の計画を方向づけるもので、将来像として「ゆとりの中で活力と創造性を育む交流のまち 阿知須」を掲げ、これを実現するため①自然と人間の調和する「田園都市」②生きがいのひろがる「生涯学習都市」③活力のあふれる「交流都市」④居住文化を創造する「住宅都市」の四本柱をもつて進めることを盛り込んでいます。

地方自治法には、市町村が事務を処理するに当っては基本構想をつくり、それに基づいて進めること。その基本構想は議決を必要とすることが定められています。本町は昭和五十六年に第一次基本構想をつくりました。これは昭和六十五年を目標に

していたため、平成二年がその終りの時期になり、このたび新たな視点にたつて、次期の長期計画をたてたわけです。構想策定に当っては、総合計画審議会（福永清二郎会長ら十六人）に町長が計画案を諮問、三回の審議会を経て、答申を得たままを第四回定例町議会で提出、十二月二十一日に議決を得たものです。

町民の創意と英知を結集

この第二次基本構想は、序論、本論、各論の三つに大別してあります。

序論 基本構想の意義・目的、性

阿知須町役場

阿知須町教育委員会

阿知須町議会

町長	飯田 宏史	助役	山田 満雄	兼重	藤井 直澄	委員	芳野 敬信	委員	井本 操	委員	眞重 章	議長	中村 徳男	副議長	大下 義明	総務委員長	松本 隆夫	副委員長	砂村 猛夫	委員	長久 清忠	委員	上野 一成	委員	吉岡 隆雄	産業委員長	岡藤 豊	副委員長	武永 輝男	委員	正司 重徳	委員	上野 政藤	委員	古田 博亮	委員	藤重 義春	社会委員長	村田ツエ子	副委員長	大田源太郎	委員	石川 二郎	委員	新田 悦三	委員	徳永 孝一	委員	小林 武男	委員	長久 清忠	委員	松崎 照雄	会長	藤重 義春	副会長	上田 太一	委員	酒井 好孝	委員	中戸 秋吉	委員	西山 泰	委員	福永 陽吉	委員	前野千代治	委員	松崎 正月	委員	脊戸山知秀	委員	正司 重徳	委員	山本 輝義	委員	鈴木 明
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	----	-------	-----	-------	-------	-------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-------	------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-------	-------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------



格・役割、目標年次などを述べています。

要旨は「近年、全国的に出生率の低下、高齢化、長寿化、技術革新、情報化、国際化が進み、住民の生活意識・生活様式など著しく変化してきた。加えて第一次基本構想が十年間の終期となり、新たな視点にたつて町民共通のまちづくりの方向を明確にするものである。この実現に当っては、町民の創意と英知をもって総合的・計画的に展開し、よるこびのひろがるまち、住むことの誇れるまちづくりに努めることを目的とする」とあります。

そして、この具体化は①基

最終可住人口は1万3千人想定

まちが発展すれば人口はどのくらいがよいか、本町の場合、最終可住人口を一万三千人とし、十年先の人口を一万九千人、二千九百世帯を想定しています。十年前にこの人口を見込みましたが、実現に至らずもう一度、挑戦する意味で一万人をめざしています。

平成二年十月一日現在の国勢調査では人口八千三百八十五人、二千四百十九世帯でした。町の面積が二五・四九平方キロメートル、一平方キロメートル当たり三百二十九人です。

これが一万三千人では人口密度は五百十人となり県下

本構想(長期計画)②基本計画(中期計画Ⅱ五年)③実施計画(短期計画Ⅲ三年)で定める。目標年次は概ね平成十二年となつていきます。この十年間は①二十一世紀へ向けての

よるこびは「生涯学習」で

町の将来像、人口と土地利用の目標などあげています。町の将来像はこの記事の前文にもとりあげているように「ゆとりの中で活力と創造性を育む交流のまち 阿知須」としています。木でいえば、幹に当る部分です。それに枝に当るところが「田園都市」「生涯学習都市」「交流都市」

五十六市町村のうち高い方から十番目になります。町村では四十二あるうち和木町、小郡町について三番目になる計算です。小郡町のような人口密度(六五六人)は緑地空間も少なく窮屈に感じられるので、余裕をもたせておこうという考え方で、学校、その他公共施設の配備、運営も、一万三千人なら効率的だとの考え方にたつています。

人口増に対処するためには国道一九〇号より海側の整備とこれに連なる地域の有効利用をはかる。有料道路以西の丘陵地は自然環境の保全を配慮しつつ、レクリエーションの場として活用をはかることになっていきます。

大事な準備期間②阿知須らしさの姿勢を示すとき③行政と町民・民間が英知とエネルギーを結集してまちづくりに取り組むことが大事であると記しています。

「住宅都市」です。これを如何に枝ぶりをよくするかが、これからの課題です。

これが、第一次基本構想では「自然と人間の調和する田園都市」「文化的で質の高い住宅都市」「未来をひろく 科学技術集積都市」「個性を伸ばす 生涯教育都市」となっていました。

今回は、自ら学び、よるこびをひろげる「生涯学習」を重視し、人と人、地域と地域それに、各業界の「交流」による活性化もめざしています。

広報紙の縮刷版

申し込みを追加募集

町制五十周年記念事業の一つとして出版した「広報縮刷版」はあと三十冊ばかり余分があります。希望者は町企画課へお申し出ください。一冊三千六百円。電話でも結構です。

この縮刷版は昭和二十六年十一月から昭和六十四年一月まで三十七年余にわたって昭和時代に本町が発行した広報紙全部を一冊の本にまとめた

各論

木の枝に葉をつけ実をならせる部分が各論に相当します。これには①住みよい郷土の基礎づくり：基盤整備②快適で健康な暮らしをめざして：生活環境整備③あたたかい心と生きがいをもつ：社会福祉の充実④活力と豊かさを求めて：産業の振興⑤人間性豊かな人づくり：教育の振興⑥連帯と協働の推進、などとりあげています。

特にコミュニティ活動については、町の将来像を実現するために町民同士の結びつきによる自主的な発想と行動が大事だと、町民の実践活動に期待。行政もこれを支援するため施設の整備・充実、指導者の育成、資料提供などつとめるとしています。

もので、本町の歩みを知る貴重な「資料」ともいえます。週刊誌の大きさを二百二十ページ。本の厚さは約四センチの豪華版です。

すでに区長を通じて申し込みを受けた人には直接お届けしましたが、「知らなかつた」といわれる人も多く、申し込みを追加で受け付けることにしたものです。増刷はしませんので申し込み順にお渡しします。



阿知須町選挙管理委員会	委員 長	松本 俊
阿知須町選挙推進協議会	委員 長	白井 昭祐
阿知須町固定資産評価審査委員会	委員 長	萩野 憲章
阿知須町広報委員会	委員 長	林 昇
阿知須町民生児童委員協議会	委員 長	白井 昭祐
阿知須町公民館運営審議会	委員 長	潮崎 一雄
行政相談員	委員 長	佐藤 昭典
人権擁護委員	委員 長	山田 育子
阿知須中学校	校長	藤中 勝人
阿知須小学校	校長	磯金 明治
阿知須小学校 育友会	校長	上村 定雄
阿知須小学校	校長	須上 義治
阿知須小学校	校長	松原 弘明
阿知須小学校	校長	伊藤 清
阿知須小学校	校長	岡田 歳一
阿知須小学校	校長	中繁 博
阿知須小学校	校長	工藤アツ子
阿知須小学校	校長	安村 重男
阿知須小学校	校長	藤井あい子
阿知須小学校	校長	古谷 一成
阿知須小学校	校長	松本 武
阿知須小学校	校長	西山 和代
阿知須小学校	校長	大田 徳久
阿知須小学校	校長	大沢 義雄
阿知須小学校	校長	藤田 治
阿知須小学校	校長	田中 和子
阿知須小学校	校長	藤田 治
阿知須小学校	校長	福重 常代
阿知須小学校	校長	秋本 純男
阿知須小学校	校長	松崎 幸久
阿知須小学校	校長	工藤 敦

第2次基本構想など可決 第4回町議会定例会

平成二年第四回町議会定例会は十二月十日から二十一日まで開会、町長提出議案十九件をすべて可決しました。主なものは次のとおり。

〔第二次阿知須町基本構想の策定について〕昭和五十六年に策定した第一次基本構想が十年間の終期となったため、次の十年に向けて第二次基本構想を策定。平成三年（一九九〇）を初年次として概ね平成十二年（二〇〇〇）を目標年次。

〔工事請負変更契約の締結について〕①飛石砂郷幹線の下

ガレキ処分施設 造成工事など報告

10月以降の諸事業

議会開会の初日、飯田町長が十月以降の諸事業について経過報告をしました。主なものを挙げる。

- ①漁港改修工事は第一工区が既に完成。第二工区は一千九百五万五千円で吉南土木工業所が落札。三月五日完成予定。
- ②千鳥ヶ浜地先の高潮対策は十二月十五日に第一工区完成。第二工区は一千五百三十九万八千五百円で阿知須建設に、完成は一月二十八日の予定。
- ③町道西岐波野口線が二千九

水道管渠布設工事で百七十三万九千六百七十円を追加し、六千八百七十七万四千六百七十円に。②阿知須中学校管理棟新築工事で六百五十七万二千四百三十円追加、一億八千八百八十八万二千四百三十円に変更。

〔阿知須町職員定数条例の一部改正について〕定数外職員と「定数外職員の復帰」の条項を加えた。定数外職員とは休職職員などで、これが職場に復帰するときは定数外でも一時的に認めるといふもの。〔町一般職の職員給与の一部

百八十七万円で玉川建設が施工、二月二十八日完成予定。④下水道事業の砂郷地区管渠布設工事第二工区は一千七十一万二千円で石川建設に落札、現在工事中。

⑤向井関地区の防火水槽新設工事は玉川建設が三百六十六万八千円で施工。既に完成。⑥且西区のガレキ処分施設造成工事は山本工務店が四百九十四万四千円で、工期は二月十六日まで。

⑦災害復旧事業は農業用施設が浜表地区など八件で、合計金額は五百四十九万七千七百八十円。いずれも施工済み。

⑧阿知須中学校管理棟新築工事の進み具合は六〇％。

改正〕国家公務員の給与改定に準じて、本町職員の給与を四月にさかのぼって改正。平均給料月額が二十七万九千七百七十一円に。平均年齢四十一歳。

〔町議会議員期末手当支給条例の改正〕期末手当の算出基礎である「報酬月額」が「報酬月額に百分の二十を超えない範囲内で一定割合を乗じて得た額」に改正。

〔町交通安全対策会議条例の一部改正〕構成員の中に「日本国有鉄道」とあったのを、西日本旅客鉄道株式会社」に。〔補正予算関係〕一般会計は八千九百六十七万二千円追加して歳入歳出とも総額二十五億五千四百六十六万六千円に。歳

⑨健康文化センター新築工事は一〇〇％強進行中。 県事業関係では ①県道山中・阿知須線および防府・佐山線は平成三年度末開通を目前にしている。アクセス道路は「県道山口・阿知須・宇部線」の路線名で認定される見込み。現在測量中。

②干拓堤防補強工事は平成元年度着手。本年度も継続事業で施工。

③県土地開発公社の干拓地区内への土砂運搬は一月から三月末までに六万五千立方メートル搬入が計画されている。事故のないよう万全を期したい。④井関川は昭和六十二年頃から改修を続けており、今年度

出の主なものは給与改定によるものや在宅老人短期保健事業の委託、福祉医療費、県営圃場整備負担金、阿知須駅JR地下道測量委託、下水道事業特別会計への繰り出しなど。

その他、特別会計（国保・老人保健・下水道）水道事業会計もそれぞれ補正。〔平成元年度各会計の決算認定〕一般会計は歳入総額二十六億八百三十六万八千円、歳出総額二十五億四千九百二十二万一千円、差引き五千九百四十七万七千円の残。特別会計は国保、交通共済、同和地区住宅資金貸付、同和福祉援護資金、下水道の各事業がそれぞれ黒字。老人保健事業は差引残額ゼロでした。

は用地買収を行っている。⑤縄田防潮樋門は十一月十四日に祈願祭が行われ、平成十年頃まで続く。

⑥県営圃場整備事業は南地内（引野工区）十六・五の面的工事とポンプ場工事。北工区（向沢工区）十六・五の面的工事とパイプライン工事を行っており、発注金額は二億一千万円。今年度末には面的工事が八十％完成し、町計画面積に対し一九％となる。

⑦水田農業確立排水対策特別事業は北地区第三換地工区（開作、塩田、小嶋）が毎年大雨の被害地帯なので、圃場整備とあわせて排水対策特別事業を導入し事業の効果が高める。



阿知須小学校	PTA 会長	秋本 英美
井関小学校	校長	岡本壽巳男
小郡警察署阿知須派出所	所長	藤田 晃三
阿知須町消防団	団長	田中 秀穂
阿知須町社会福祉協議会	会長	中村 昭三
小郡交通安全協会阿知須支部	支部長	福永清二郎
防犯連絡所指導員会	会長	福岡 賢
阿知須町体育協会	会長	酒井 好孝
阿知須の文化を高める会	会長	飯田 宏史
阿知須婦人会	会長	兼定 彰
井関婦人会	会長	上野タケ子
老人クラブ連合会	会長	江本紀代子
子ども会育成連絡協議会	会長	岡村 牧恵
遺族会	会長	大沢 義雄
母子寡婦福祉会	会長	細中 勝人
更生保護婦人会	会長	井上ミサホ
身体障害福祉更生会	会長	尾上 孝子
環境衛生組合連合会	会長	兄玉 三男
手をつなぐ親の会	会長	徳永 孝一
阿知須町農業協同組合	組合長	青木 潔
阿知須漁業協同組合	組合長	山本 輝義
阿知須町商工会	会長	長久 清忠
吉南信用金庫阿知須支店	支店長	野村 大象
山口銀行阿知須支店	支店長	野村 博之
阿知須郵便局	支店長	手嶋 哲雄
同仁病院	院長	伊藤 俊彦
共立病院	院長	西田 健一
白松苑	院長	三好 正規
清光園	院長	伊藤 収
		藤野外茂樹
小古郷東	三輪 力	納税組合長
小古郷西	細中 静雄	塩部 義紀
小古郷南	松永 友治	中谷 久人
前山	河面 憲次	古浜 利夫
小山	山信 律	須上 義治
北祝	林 國雄	同上
		石川 和雄

阿知須の誇りは自然環境

広域市町村圏 町民意識調査から

町では今年から人口定住について環境づくりを進めていくことにしています。

そこで、昨年宇部小野田広域市町村圏（三市三町一市一部、小野田市、美祇市、山陽町、楠町、阿知須町）で行った町民意識調査で本町をみてみましょう。

アンケート配布数は有権者の二％にあたる百二十通で、回収数は八十九通、回収率は七四・二％でした。

▽住まいの環境について

非常に住みよい 六・八％
 住みよい 六七・四％
 何とも思わない 一〇・一％
 やや住みにくい 一四・六％
 とても住みにくい 一・一％

約七割の人が住みよい環境にあると感じておられるようです。

▽居住意識

住み続けたい 五一・七％
 できれば住み続けたい 三〇・三％
 どちらでもよい 九・〇％
 機会があれば転出したい 九・〇％

住みたくない

これも約八割の人が住み続けたいと思っておられます。

▽自然環境では

満足 四七・二％
 まあまあ満足 四九・四％
 やや不満 一・一％
 不満 二・三％

ほとんどの人が阿知須の自然環境に満足。



住みたいまちあじす

▽道路交通事情

満足 三三・六％
 まあまあ満足 四四・九％
 やや不満 一三・五％
 不満 九・〇％

交通事情についても不満を大きく上回っています。

▽娯楽・レクリエーション施設

満足 一一・二％

まあまあ満足 二四・七％
 やや不満 四一・六％
 不満 二二・五％

ここでは不満が多くなっています。

▽教育文化施設

満足 一二・四％
 まあまあ満足 五二・八％
 やや不満 二二・六％
 不満 一・二％

約六割の人が満足されています。

▽福祉施設

満足 一一・二％
 まあまあ満足 四六・一％
 やや不満 二八・一％
 不満 一三・五％
 無回答 一・一％

これも満足が不満を上回っています。

▽町並みの区画や衛路整備では

満足 五・六％
 まあまあ満足 三二・六％
 やや不満 四一・六％

農地の貸借には必ず契約を

新しく農地の貸借をする場合または、貸借期限が過ぎて更新する場合は契約が必要です。契約をしておかないと、借賃支配でのトラブルや転作助成金が正しく配布されないことがあります。

契約書は、農業者移譲年金に関するもの以外は半年に一度しか受け付けません。

不満 一九・一％
 無回答 一・一％

となっており、約六割の人が不満を感じておられるようです。

▽買物、商業施設は

満足 一〇・一％
 まあまあ満足 三二・五％
 やや不満 三九・三％
 不満 一九・一％

不満が満足を上回っています。

すが、これは平成四年春オープンのショッピングセンターが出来あがれば解消されるものと思われれます。

その他、病院、地域の集会所・公民館では満足が七割以上、逆に上水・下水・ごみ施設では六割強の人が不満と感じておられます。

住んでいる町について誇りに思うものとの問いには、自然環境、人情・思いやり、愛郷心が上位を占めています。

次回締め切りは一月十六日（水）です。

詳しくは、町役場産業課農林係（☎四二一五）まで。

出初め式は1月5日

町消防団の出初め式は一月五日（土）午前八時半から町役場前で行われます。

開始三十分前の八時にサイレンを一分間鳴らしますので、火事と間違われませんように。



焼野	青畑	仙在	引野	向野	源河	河内	杖川	野口	井関	赤迫	浜表	岡表	門松	旦北	旦西	旦東	岩倉上	岩倉前	岩倉西	岩倉前	沖原	飛石	砂郷三	砂郷二	砂郷一	二宮	浜宮	寺内	西条	中村	縄北	縄南	東田	築地	恵比	南祝	
石川	小林	有富	藤田	堅田	石田	咲花	田井中	野村	米金	渡辺	門出	松崎	竹重	中川	藤井	藤永	上野	岡村	岡藤	山野	田辺	松崎	藤沢	小川	木村	吉野	上田	小野	明徳	磯中	新田	平野	福富	元吉	弘中	市川	林
勇	武治	正一	孝雄	良登	芳博	幸一	建夫	建夫	勉	保徳	隆人	勝正	基行	清	哲男	房男	利正	浩英	峯雄	英夫	千代	正雄	誠	吉明	延	喜一	茂男	勲	徹	宏	悦三	周雄	誠二	清海	得男	成美	經康
同	同	末永	芥川	國重	松永	哥川	兼重	岡野	佐藤	井上	大空	伊藤	藤好	同	下川	土井	上野	田辺	松重	洋士	永治	同	金子	西村	誠一	緒方	三谷	菊池	大浜	須崎	河村	浜中	富田	正和	繩吉	大塚	齋藤
同	同	澄子	清子	雅子	末江	恵子	ヨ子	フジエ	昭典	良子	貞子	久子	文雄	文雄	良栄	ミコ	義弘	義弘	洋士	淑子	永治	清嗣	誠一	誠一	剛司	哲也	卓一	栄	俊夫	照夫	安義	正和	和男	守			

(十二月二十日現在)

公民館だより



▲砂絵づくり
少年教育講座

たくましい阿知須の子を育てる町民の広場
と き 1月20日(日)9時20分から
ところ 阿知須町公民館 大講堂

町教委、たくましい阿知須の子育成協議会共催の平成二年度「たくましい阿知須の子を育てる町民の広場」は一月二十日(日)午前九時二十分から町公民館大講堂で開きます。
子どもたちの心身ともに健全な成長を願っての催しで、当日は「たくましい阿知須の子を求めて」と題して、PTA代表の意見発表や全体協議、河内山旭氏(新南陽市原田病院相談部長)の「現在の家庭教育を考える」と題しての講演など予定。



太田 陽子さん
(昭和42年・砂三)

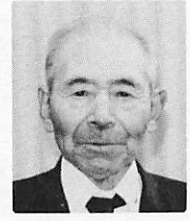
▲今年もスキー教室に行つて、うまく滑れるようになりたい。

公民館をよく利用される
羊年生まれのみなさん



工藤 智明さん
(昭和54年・小西)

▲何事もくじけず、最後まで頑張りたい。



上野 義香さん
(明治40年・岩上)

▶健康な身体に健全な精神が宿る。今年も健康でありたい。



宮本 清一さん
(大正8年・浜)

▲家族みんなが健康でありますように。そして、余暇を利用して趣味をもちたい。



中谷 晴子さん
(昭和18年・砂一)

小学校PTA、中学校育友会、幼稚園・保育園母の会の会員を中心に出席を呼びかけていますが、一般の方もふるってご参加ください。申し込みは一月十一日(金)までに町教育委員会までとさせていただきますが当日の参加も歓迎します。

厄払いに七草がゆを
15日、耐寒ハイキング
町教育委員会では「野山を歩いて、七草がゆを食べよう」と



金本 芳子さん
(昭和6年・南祝)

▲人づき合いを大切に、健康で朗らかに何事も意欲的にやっています。

今年羊年。十二年に一度めぐってくる当り年を迎えられた羊年生まれのみなさん、今年も良い年でありますように。



国重 雅子さん
(昭和30年・向井関)

▶羊のようにやさしく、温和で笑顔をお忘れず、一年を過ごせたらと思えます。

- 町内駅伝の成績
(11/9町体協・町教委主催)
- 〔総合〕①河内・源河(53分47秒) ②岩倉(53分49秒) ③赤浜A(56分44秒) ④小古郷⑤砂郷⑥赤浜B⑦巨岡⑧前山⑨飛沖
〔区間賞〕
▽一区(小学生) 本田貢(河内・源河) ▽二区(青年) 山村昌平(岩倉) ▽三区(中学生) 岡村陽司(岩倉) ▽四区(40歳以上) 山野修三郎(河内・源河) ▽五区(高校生) 哥川公一(河内・源河)

たごじりの・竹とんぼ教室
1月27日
町子ども会育成連絡協議会で

また、この七草をおかゆに入れたものを「七草がゆ」と言い、これを食べると万病を除き災厄を払うとして、古くから伝えられています。野菜の乏しい冬季に新鮮な植物を食べると身体のためによいというならわしです。

○元旦にどう会
一月一日(火) 午前七時から岡山霊廟前広場
○親子読書
一月十三日(日) 午前十時から町公民館

☆図書室への寄贈
三輪力さん(小東)から図書

大英博物館「芸術と人間」展が県立美術館で開かれています。メソポタミア、エジプト、ギリシャ、インド、西域、アメリカ、ポリネシアなどの貴重な遺宝二百五十余点を展示します。期間は一月五日から二月二十日まで。休館は月曜日。ただし、二月十一日は開き、十二日の火曜日を閉館。
入場料は一般千四百円、高校生八百円、小・中学生四百円。

いう目的で「体力づくり耐寒ハイキング」を次のとおり行います。
▽日時 一月十五日(火・成人の日) 午前九時受け付け
▽場所 阿知須町公民館前集合、浜区を経て岡山台地へ
▽申し込み 一月十一日(金)までに町公民館へ
春の七草とは「せり、なずな、おぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ」のこと。
大英博物館展
県立美術館で

は一月二十七日(日) 午前十時から町公民館二階大会議室でたごじり・竹とんぼ教室を開きます。
問い合わせは町子ども会育成連絡協議会事務局(町公民館内) ☎(078)210-2111へ。



「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画課（有線二一四四）へお寄せください。



新しい教育委員

芳野 敬 信さん(60)

— 恵比須 —



釈野憲章さんの後を受けて新しい教育委員に選任された芳野さんを訪ねました。任期は十月一日から四年間。

引き受けられての気持ちは「昭和二十四年十二月に教職についてから昭和六十三年四月の退職までずっと町外の学校に勤務し、阿知須をあげていましたので、私も役立てば恩返しをしたいということで引き受けました」

委員になられて三か月あまりですが、どのように感じておられますか
「以前から阿知須は素晴らしい

と感じていました。例えば、以前交通安全研究会で阿知須に伺った時の先生方や保護者、地域が一体となって活動されていること。また、実技講習で先生方が一生懸命されていたことに感銘を受けました。そのことが委員になって阿知須小、井関小を訪問した時、行き届いた学校経営がされていること、町の姿勢や現場が一体となって環境づく

りをされていることなど改めて認識させられました」

—— モットーは

「エンピツ型人間です。エンピツにもいろいろ種類があり使い分けています。また、芯だけでなく回りの木が持ちやすいようにすることも大事です。そのように、その場その場で考えながら相手の気持ちを汲みとって感謝しながらいく。また、子どもを大切に、地域に融け合って還元していくことです」

これからの抱負は「私なりの夢もあり、やりがいのある仕事なので、微力ながら努めていきたいと思っています」

趣味は油絵で、県展入選の実績もある四十年のベテラン。旅行の時は必ずスケッチブックを携帯すること。県の教員研修では幼児造形分野の常任講師。家族は奥さんとの二人暮らし。

短歌

益弘 吾一

去年の日記乱れし文字の読みがたし深く酔ひたる夕べならむか

中本 幸枝

山茶花の散りしく森の道紙ひこ

うき飛ぶ児等は賑やか

杖立のバス旅ながし杉こだち森

ともなりて川に添をり

砂村 ヤス子

果て遠く一つ小さき長者ヶ森黄

に枯れて明るきカルスト高原

藤重 アヤ子

うっ蒼と茂る森を分かちて二す

じに流れる滝よ霧ヶ降の滝

桜井 文子

待針を胸に指すくせ帰りざわ大

鏡に向ひ撫でてたしかむ

三住 清子

山の端の森の木かげも紅葉のい

づこも同じに赤くいろどる

肌寒く森の黄葉季の変わり師走の

景色を遠くながむる

宮原 ツネ

小学生の木管楽器をふく音も森

のなかから鳥の鳴く声

田頭 フテ

入浴の行き帰りに見る窓きわに

山茶花咲きてわれ等なぐさむ

善意はここに

〈町へ〉

◇保健事業費▽楊亮さん(飛石)は父靖也さんの香典返しとして

〈町社会福祉協議会へ〉

◇香典返し▽山田秀雄さん(小南)は姉川崎マチノさんの▽井本邦昭さん(岩倉前)は父良夫さんの▽村藤正憲さん(北祝)は父伝松さんの▽藤井克之さん(野口)は兄清さんの▽楊亮さん(飛石)は父靖也さんの▽徳田文男さん(門松)は母絲乃さんの▽小野宏秋さん(砂三)は母子さんの

◇篤志▽匿名(204・205回)

よがなしみ

(届出順)

出生(おすこやかに)

子の名 続柄親の名 月 日 住所

中村紗優理 二女 賢豪 11・11 砂三

中川 諒 大長男 浩美 11・20 旦北

村田 好隆 長男 光生 11・21 向井関

松本あゆみ 長女 敏明 11・23 旦北

真藤 伸 二男 晴生 12・9 浜表

藤永 敏晶 二男 正 12・10 旦東

濱田 和磨 長男 昌幸 12・11 南祝

岡藤 弓絃 長男 博昭 12・15 杖川

死亡(ご冥福をお祈りします)

氏名 死亡月日 年齢 住所

今岡 穂 12・7 62 恵比須

磯崎 弥作 12・16 96 縄南

ごみの収集日 1月

ごみの収集時間 前日午後五時～当日午前八時

町指定袋の販売 町指定のごみ袋は、各地区環境衛生組合長宅と婦人会支部長(一部)宅で販売します。

清掃センターへ直接持ち込み ご注意 清掃センターへ直接持ち込みごみは(月・土)、午前八時半～午後二時まで(祝祭日は出せません)

不燃物ゴミの収集日 (町内全域)

○ビン、ガラス、灰など (第1、3木曜日)	17日	31日
(木)	(木)	(木)
○空缶、鉄類 (第2、4、5木曜日)	10日	24日
(木)	(木)	(木)

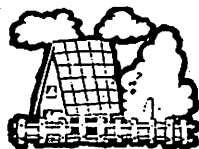
可燃ゴミの収集日

阿小校区 (岩倉を除く) 月・水・金					
4日	7日	9日	11日	14日	16日
21日	23日	25日	28日	30日	
井小校区 (岩倉を含む) 火・土					
5日	8日	12日	(16日)	19日	22日
29日					

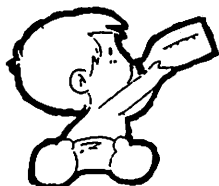
()は変更後の収集日

絵で見るわが町

(11月30日現在) ()カッコ内は元年
世帯 2,466戸 (2,416戸)
人口 8,348 (8,276人)



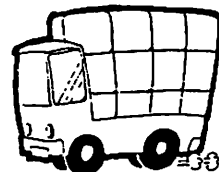
世帯構成 1世帯
3.39人 (3.43人)



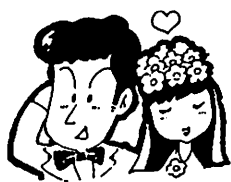
出生年間 75人 (52人)
男 34人 女 41人



死亡年間 91人 (73)



転入年間 329人(271人)
転出年間 241人(256人)

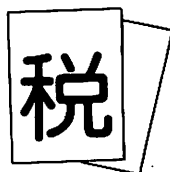


婚姻年間 30組 (24組)

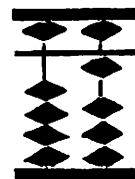


町職員 92人 (93人)

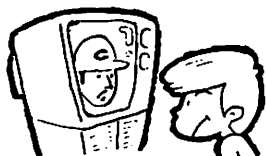
町税(当初予算)



町民税(個人) 1人当 30,237円
(30,403円)
固定資産税 1世帯当
137,925円 (126,614円)



町の予算 1人につき
300,128円(293,735円)



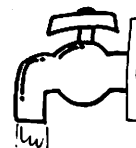
テレビ 2,269台 (2,252台)
衛星テレビ 78台
(4月1日現在)



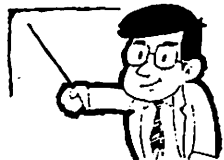
局線電話 2,731台(2,626台)
有線電話 1,525台(1,554台)



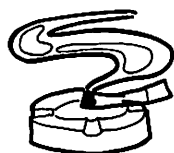
軽自動車 2,113台(2,045台)
二輪・原付 1,186台(1,204台)



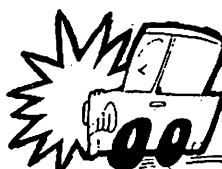
水道加入戸数 2,070戸
(1,974戸)



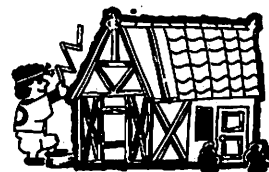
教員 阿小 17人(17人)
井小 9人 (9人)
阿中 22人 (22人)



タバコ 1人1日
4.8本 (4.8本)



交通事故(年間)
117件 (144件)



建築年間 115件 (143件)
建築確認申請(新・増・改築)

人の動き	メモ	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
住民登録 (平成2年12月24日現在) 人口... 8,354人 (男...3,871人) (女...4,483人) 世帯... 2,469 平成2年国勢調査 (人口...8,385人) (世帯...2,419) 12月の動き 出生... 6人 死亡... 3人 転入... 17人 転出... 14人	火災と救急は 一一九番へ 納税 町民税・国保税	機能訓練(公、後1時半)		貧血教室(公、前9時半)	献血(体育センター前、前9時)	たこづくり・竹とんぼ教室(公、前10時)				乳幼児衛生教育(役、後1時)	貧血教室(公、前9時半)		9時受付) たくましい阿知須の子を育てる町民の広場(公、前		心配ごと相談(社会福祉センター、前10時)	体力づくり耐寒ハイキング(公、前9時)	親子読書(公、前10時)		三種混合(役、後1時半)		阿小、井小、阿中始業式、育児相談(役、後1時半)		消防出初め式(前8時サイレン吹鳴)						役場御用始め

町民カレンダー 1月
(役場・公民館・体育センター)